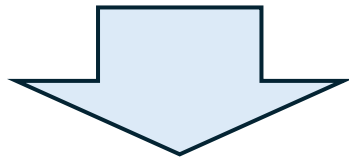




主催：公益社団法人日本観光振興協会
後援：内閣府 観光庁

観光DX検定(正式名称:地方創生データサイエンティスト認証制度)

- ・人口減少などによる慢性的な人手不足の中、DXにより生産性を向上させる必要性
- ・地域課題の解決のためデジタルツールやデータ連携などが進む一方、データを分析・戦略策定できる人材の不足
- ・観光に特化したスキル基準や制度などの不足

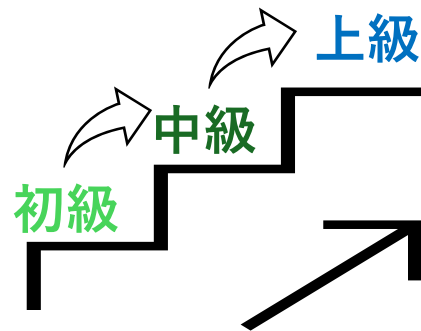


TOURISM DIGITAL TRANSFORMATION PROFICIENCY TEST の創設

主催：公益社団法人日本観光振興協会
後援：内閣府 観光庁



- ・観光DX検定は、2025年にスタートし、今年で2年目を迎えます。
- ・観光に必要なデータ活用の力を、初級・中級・上級の3段階で学びます。
- ・データの基礎を知ることから、観光地経営やマーケティングにデータを活かし、戦略を考える力まで、段階的に身につけていきます。



初級：データを知る力
中級：データを使う力
上級：データでビジネスを
組み立てる力



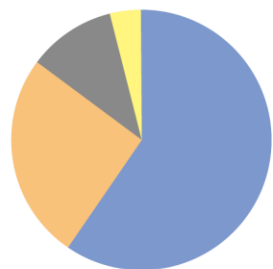
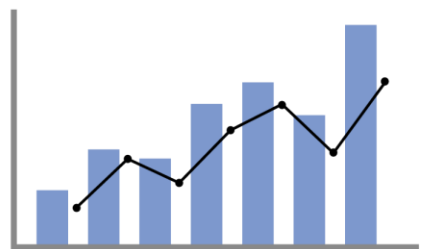
目標スキル：正しくデータを集計・分析し、集計したデータを正しく読み解く上で、必要となる基礎的知識を有している。

初
級

- ✓ 観光DXが必要である背景を知る
- ✓ 簡便なデータを集計するための知識を学ぶ
- ✓ データをもとに作成された数値、及びグラフについて正しく理解し、傾向を読み解くことができる
(統計検定の4級中心)
- ✓ 観光地経営で取り上げられるデータの特性、指標設定の考え方を学ぶ

認定基準：選択式テストによる合格基準点を設けて認定 7割以上の正答で合格

中級



中級

目標スキル： データや分析結果などを読み解く上で欠かせない判断基準をもち、観光計画やマーケティング戦略の様々な場面においてデータを選択し判断する力を有している。任意の観光地における傾向（強み・弱みなどの特性）を明示でき、かつその背景について考察することができる知識を有している。

- ✓ 初級の基礎的知識の維持が前提
- ✓ 正しい手順、手法に基づいて最適なデータ選択、集計、分析方法を選択できる（統計検定の2級3級程度）
- ✓ 観光地の動向分析やマーケティング実務において、知識を基にデータを活用でき、その結果から背景について考察ができる
- ✓ 認定基準：選択式テストとレポート形式での試験



上級



データでビジネスを

組み立てる

上級

目標スキル：複雑なデータセットを分析し、DX時代の需要予測や新しい価値をうみだす観光地経営戦略を意思決定者に提案できるスキルを有している。任意の観光地における傾向や、社会的・地域的背景をもとに今後の観光戦略の方向性を提案できる。

- ✓ 初級・中級の基礎的知識の維持が前提
- ✓ 複数データセットから観光地の動向を分析、傾向や需要予測を考察ができる
- ✓ 意思決定者の判断材料となる現状分析、需要予測、効果測定、評価、それらを基にした観光地経営戦略を作成、提案できる

認定基準：有識者による論文審査、面接など

開発中

・これからの観光に必要な、データ活用の力を基礎から学びます

1

観光もデータで考える時代

- ・観光客の動きやニーズをデータで知ることは、より効果的な観光戦略につながります。
- ・これからの観光には、データを活用する力が欠かせません。

2

あなたもデータサイエンティスト

- ・データの集計やグラフの見方、観光地経営で使われる指標の基本を学びます。
- ・データをもとに考える観光地経営やマーケティングの第一歩を学べます。

3

はじめてでも安心

- ・データの基礎からやさしく学べるので、数字や分析が苦手な方でも安心して取り組みます。
- ・難しい知識や専門的なスキルがなくても、基本から無理なく学べます。

・観光DX検定は2025年にスタート これまでの実績や受験者の声をご紹介します

2025年12月実施
初級試験結果

受験者 304名
合格者 268名
合格率 88%

どんな人が受験している？

観光に限らず、さまざまな業種の方が受験しています

●仕事に活かすために、基礎から学びたい方

観光地域づくり・マーケティングなどの仕事でデータを活用したい。
でも数字はちょっと苦手。そんな方が基礎から学ぶため受験しています。

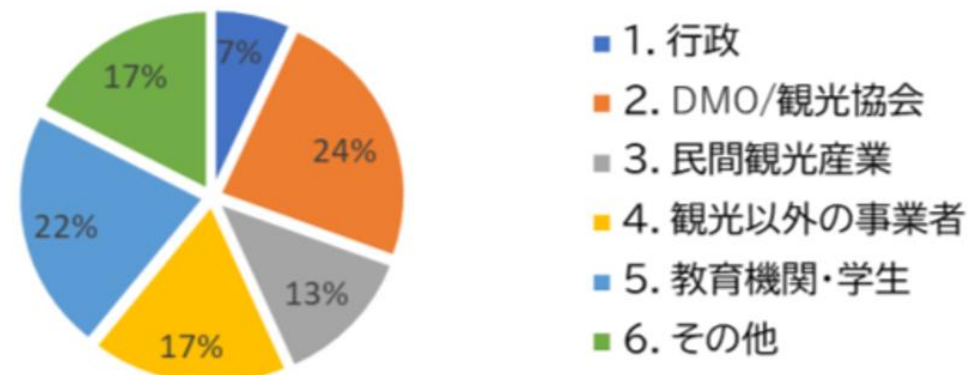
●これからの観光を学ぶ学生の方

観光や地域づくりを学ぶ学生の方。これからの観光に必要なデータ活用の基礎力を、
学生のうちから身につけられます。

受験者の声

- 人流データで、経路がわかったり、数がわかったりする理由を理解できました。（民間事業者）
- 今まで何となくSWOT分析をしていましたがデータに立ち返って整理すると議論もしやすくて、役立ちました。（地域DMO）
- 委託先の説明でわからないところを、思い切って質問できるようになりました。（観光協会）

所属組織別申込状況



・豊富な教材をオンラインで、基礎からわかりやすく学べます

初心者にもわかりやすく、また体系的に、初級検定に必要な知識を学べる教材セットです。
観光DXの基本から、データ分析、観光地経営やマーケティングまで学べます。
動画や実践問題はEラーニングで、**いつでも・どこでも・自分のペースで学べます。**

●3つの章で、観光DXの基礎を学ぶ

第1章 観光DXの基本的な考え方

- ・観光DXが必要な背景
- ・観光地経営への理解と体制づくり
- ・持続可能な観光地経営のための取組

第2章 観光データ分析に必要な基礎知識

- ・統計の基礎と分析の考え方
- ・観光動向を把握する方法

第3章 観光DXの実践手法

- ・観光動向を把握する方法
- ・データドリブン経営における目標指標の設定
- ・観光地のマーケティング戦略策定とデータ活用
- ・観光動向分析ツールの使い方

●学びを深める4つの教材



テキスト

初級検定に必要な知識を体系的に学べる基本教材。



動画10本

各テーマを専門家がわかりやすく解説。テキストとあわせて確認できます。



推奨分析ツール

RESAS、e-Stat、観光予報プラットフォームなど、観光データの分析に活用できるツールを学びます。



実践問題100

過去の出題をもとにした問題で、学んだ知識を確認し、検定に向けた実践力を身につけます。

●教材セット利用料

- ・一般：33,000円（税込）
（日本観光振興協会会員 29,700円（税込））
- ・学生：22,000円（税込）

テキストのみも販売3300円（税込）

●初級受験料

検定受験には別途費用がかかります

- ・一般：6,600円（税込）
- ・学生：3,300円（税込）

04 ヒストグラム

<特徴>

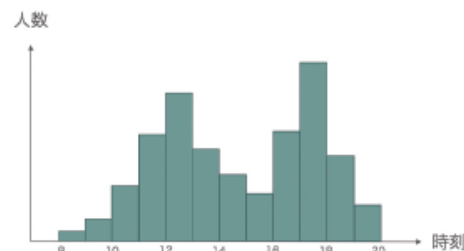
- ・データを等間隔の区間（ビン）に分け、各区間の頻度を棒グラフで表します。
- ・データの全体的な形状や中心傾向、散らばりを一目で把握できます。

<使い方>

- ・x軸にデータの値、y軸に頻度をとります。
- ・データの範囲を適切な数の区間に分けます。
- ・各区間に含まれるデータの数を数え、棒グラフで表します。

<例>

例：時間帯別入館者数



観光DX検定初級テキスト改訂版
第2章 2-(1)「データの可視化と読み取り」より抜粋

可視化します。
傾向を把握するのに役立ちます。

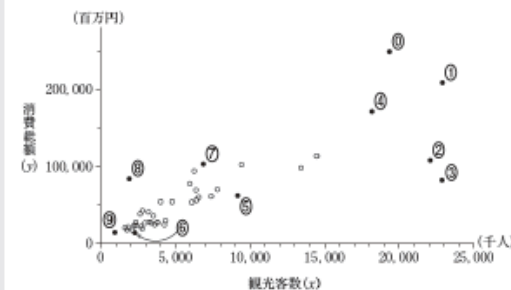
<使い方>

- ・x軸とy軸にそれぞれ変数をとります。
- ・各データポイントを座標平面上にプロットします。

<例>

観光客数と消費総額を「プロット（点として配置）」することで、観光客が多い地域ほど消費額も高くなる傾向（相関）があるかどうかを確認できます。

例：観光地の観光客数と消費総額の散布図グラフ



06 箱ひげ図

<特徴>

- ・データの中央値、四分位数、最小値、最大値を一つの図で表現します。
- ・データの散らばりや外れ値を簡単に確認できます。

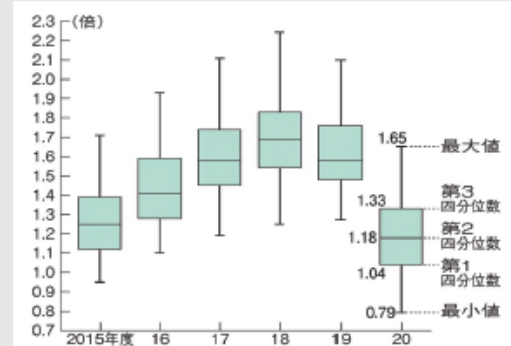
<使い方>

- ・箱の中央線が中央値を表します。
- ・箱の下端が第1四分位数、上端が第3四分位数です。
- ・ひげの端が最小値と最大値を示します（外れ値を除く）。

<例>

複数の観光地の月間来場者数を比較する際に使用すると、各観光地の集客パターンの違いが分かります。観光地ごとの平均的な来場者数の比較、繁忙期と閑散期の来場者数の変動幅など。

例：主要観光地の月間入込率の分布



1. 統計データ

観光統計やアンケート調査のような統計データは、“観光地や旅行者全体の行動や状況”の把握に向いています。そのため、広い目線から全体を俯瞰して、大きな傾向や変化を捉えたい時に活用すべきデータです。

統計データは、オープンデータとして公開されているものが多く、マーケティングプロセス全体を通じて活用できる基礎的なデータですが、旅行者の行動やニーズを詳細に分析する際には活用しづらい点に留意する必要があります。

また、以下の図のように同じ観光庁が実施する統計調査においても、調査内容によって調査対象や調査項目、そして調査規模などが異なっていることが分かります。データを実際に分析していく前に、そのデータにどんな特性があるのか、きちんと理解することが必要です。

観光庁実施の統計

調査名	開始年	調査目的	調査対象	主な調査項目	
旅行・観光消費動向調査	2003年度	旅行・観光における消費実態の把握	日本人	旅行回数、旅行時期、消費内訳	26,000人
インバウンド消費動向調査	2024年	訪日外国人客の消費実態の把握	外国人	旅行回数、旅行時期、消費内訳	全国29都道府県、4回、全
宿泊旅行統計調査	2007年	宿泊旅行の全国規模の実態の把握	日本人 外国人	都道府県別居住地別月別延・実宿泊数	全宿泊者
共通基準による観光入込客統計	2010年	観光入込客数と消費額の全国規模の実態の把握	日本人	都道府県別四半期別観光入込客数・属性別平均消費額	観光地・観光地点での推計

これらのオープンデータとして公開されているデータは、都道府県単位のものが多く、市町村単位データを取得・蓄積していくことが重要です。

観光DX検定初級テキスト改訂版
第3章（2）「観光動向分析のためのデータ種別と特徴」より抜粋

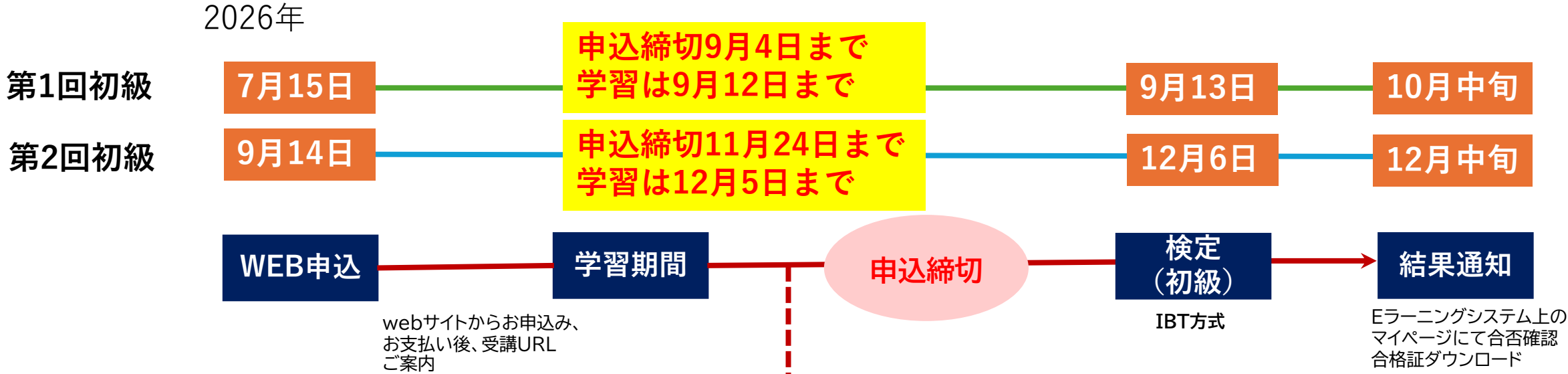
代表的な統計データ

- 観光統計 (官公庁・JNTO)
- アンケートデータ (官公庁・JNTO)
- 調査報告書 (政府系機関、シンクタンク、ソリューション提供事業者など)
- 各省・各種センサスなど (RESAS)

	データ種別	観光産業の活動実態把握	観光客の周遊行動把握	観光客の消費行動把握	観光客の評価把握
統計データ	統計	○現象を広域・多時点での把握可能 △現象の生じた要因は直接的に把握不可能	○現象を広域・多時点での把握可能 △現象の生じた要因は直接的に把握不可能	○現象を広域・多時点での把握可能 △現象の生じた要因は直接的に把握不可能	○現象を広域・多時点での把握可能 △現象の生じた要因は直接的に把握不可能
旅行者データ	アンケート調査	○現象の生じた要因を直接的・詳細に把握可能 △広域・他時点での実施が困難	○行動の要因も直接的・詳細に把握可能 △回答の信頼性・精度にやや問題あり	○消費の要因も直接的・詳細に把握可能 △回答の信頼性・精度にやや問題あり	○評価の背景を直接的・詳細に把握可能 △広域・多時点での実施が困難
	位置情報 (GPS/電波)	×	○エリアの時刻別滞在密度や個人の移動軌跡を把握可能 △行動の要因は直接的に把握不可能	×	×
	検索 (目的地/経路)	×	○観光施設の日時を含めた訪問ニーズが高精度に把握可能 △実際の訪問は必ずしも保証されない	×	×
	SNS (テキスト/画像)	○活用内容を多様かつ広範囲に把握可能 △書き込み頻度、内容等の主体間のバラツキ大	○個人の滞在場所や行動を直接把握可能 △書き込み頻度、内容等の個人間のバラツキ大	○消費項目を具体的に把握可能 △書き込み頻度、内容等の個人間のバラツキ大	○細かい評価要因を把握可能 △書き込み頻度、内容等の個人間のバラツキ大
	決済 (クレカ/アプリ)	○高精度な売上データが把握可能 △現金決済部分は把握不可能	○カード決済による訪問エリアの把握が可能 △決済を過ぎない活動は把握不可能	○消費項目と金額の直接的な把握が可能 △現金決済時の把握は不可能	×

解像度は荒いが信頼性が高い
量は少ないが要因が把握できる
質の差が大きいが大数である

初級受験申込から合否通知までの流れ



学習方法は以下のいずれかの方法を選択

①学習教材セット
(Eラーニング、テキスト、 実践問題100問)

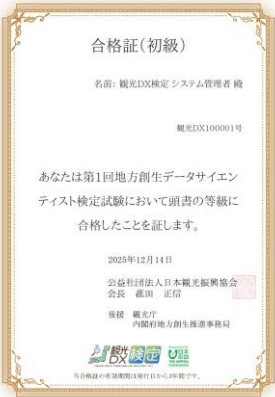
②テキストのみ

<参考:①にかかる時間>

動画:約30分×10本 = 約5時間

テキスト 74ページ

実践テスト約60分×2回=約2時間分



中級は
11月
～



2026年Dカレッジ お申込手順のご案内



公益社団法人 日本観光振興協会
観光地域づくり・人材育成部 Dカレッジ担当

① Dカレッジ(観光DX検定・Dスタディ)[お申込みサイト](#)にアクセス



お申込みの流れをご確認ください

本検定システムでは、不正受講やなりすまし防止等のため、公的機関が発行した本人確認書類をご登録いただきます。



② 受講したいプログラムを選択し、お申し込みボタンをクリック



Dスタディは、ポップアップ画面にお申し込みボタンがあります
「観光庁DMO要件対応講座」「専門講座」「地域事例シリーズ」の「詳細・お申込」を押すと講座一覧とお申し込みボタンが表示されます。



③ 初めてお申し込むとき—新規会員登録をクリック

Dカレッジ
ログイン

登録済みのメールアドレスとパスワードを入力してください

メールアドレス (ログインID) 必須
example@company.co.jp

パスワード 必須

ログイン

IDまたはパスワードを忘れた方

アカウントをお持ちでない方

新規会員登録

注意事項をご確認ください
受講お一人につき、一つのメールアドレスをご用意ください。

○ メールアドレスについてのご注意

受講者一人につき、一つのメールアドレスをご用意ください。

昨年度、Dスタディや観光DX検定を利用した方は、昨年度と同じメールアドレスをご利用すると登録情報と連携できます。ただし、複数名で同じメールアドレスを使用していた場合は、受講者一人につき一つのメールアドレスをご用意ください。

確認メールや各種通知は「no-reply@nihon-kankou-dx.info」から送信されます。メールが届かない場合に備え、ドメイン「nihon-kankou-dx.info」からのメールを受信できるよう設定（ドメイン指定受信の許可）をお願いします。迷惑メールフォルダに振り分けられる場合もありますので、あわせてご確認ください。

確認しました

Dカレッジ
新規会員登録

メールアドレスを入力して、確認メールを受け取ってください

○ メールアドレスについてのご注意

受講者一人につき、一つのメールアドレスをご用意ください。

昨年度、Dスタディや観光DX検定を利用した方は、昨年度と同じメールアドレスをご利用すると登録情報と連携できます。ただし、複数名で同じメールアドレスを使用していた場合は、受講者一人につき一つのメールアドレスをご用意ください。

確認メールや各種通知は「no-reply@nihon-kankou-dx.info」から送信されます。メールが届かない場合に備え、ドメイン「nihon-kankou-dx.info」からのメールを受信できるよう設定（ドメイン指定受信の許可）をお願いします。迷惑メールフォルダに振り分けられる場合もありますので、あわせてご確認ください。

メールアドレス (ログインID) 必須
example@company.co.jp

☐ 利用規約およびプライバシーポリシーに同意します

確認メールを送信

既にアカウントをお持ちの方

メールアドレスを入力
利用規約およびプライバシーポリシーをご覧ください。同意いただける場合は☒、「確認メールを送信をクリックすると、会員登録用URLをお知らせするメールが届きます。

【Dカレッジ（Dスタディ／観光DX検定）】会員登録を続けてください。

 nihon-kankou-dx <no-reply@nihon-kankou-dx.info>
To h-iwamoto+8336

Dカレッジ（Dスタディ／観光DX検定）決済サイトです。

下のリンクをクリックして会員登録を確認してください。

[会員登録ページへ移動](#)

④ 会員登録

画面に従って、パスワード、氏名、組織の種類、組織名、会員区分等を入力

日本観光振興協会会員、学生の方は会員区分を☒
名刺または学生証を登録し、利用規約等の同意を☒、会員登録

昨年度、Eラーニングサイトをご利用した方は、昨年度の登録情報を反映させることができます。

【反映できる場合】

今回使用しているメールアドレスと、昨年度Eラーニングサイトで使用したメールアドレス、入力するログインIDが一致する場合

Dカレッジ
会員登録

以下の情報をご入力ください（*は必須項目）

メールアドレス (ログインID)
h-iwamoto+8336@nihon-kankou.or.jp

昨年度にEラーニングサイト（観光DX検定・Dスタディ）をご利用の方
EラーニングサイトのログインIDを入力して「反映」を押すと、登録済みの氏名・組織などを呼び出せます。上のメールアドレスと一致する場合があります。

EラーニングサイトのログインID 反映

パスワード 必須 パスワード (確認) 必須

8文字以上

姓 必須 山田 名 必須 太郎

会員区分 必須
学割・会員価格をご希望の場合は該当区分を選んでください。

☒ 一般（名刺を提出）
☐ 学生（学生証で学割適用）
☐ 所属の組織が日本観光振興協会の会員（名刺で会員価格適用）

名刺の写真 必須
組織にご所属の方は名刺の添付が必須です（所属確認・請求書発行用。審査はありません）。

名刺の写真を添付
クリックして選択またはドラッグ＆ドロップ
PNG / JPG / PDF・最大10MB

☐ 利用規約およびプライバシーポリシーに同意します

会員登録する

⑤ 購入手続きー1 プログラムの選択、受講者の確定

本システムは、お支払い手続きを済ませたのちに、受講手続きに進みます。
最初に、0円のお見積画面が表示されます。
スクロールして受講するプログラムを選択し、左下の「受講者を追加」ボタンを選びます。
登録者の氏名が表示されますので、「1名を確定」をクリックします。

⑤ 購入手続きー2 購入するプログラム、金額を確認

プログラムの名称、個数を確認し、間違いなければ、支払い(決済)へと進みます。
取り消したい場合は、プログラム名右の「取消」ボタンからキャンセルできます。
他のプログラムも受講する場合は、スクロールさせてプログラムを選択し、受講者を追加すると、お見積り画面に自動的に追加されます。
見積書、請求書の取得については「見積書・請求書・領収書ダウンロードガイド」をご覧ください。

⑥ お支払-1

決済ボタンを押して、画面の案内に従って支払います。
購入を取り消したい場合は、中ほどの「請求を取り消す」からキャンセルできます。

注文番号
in_1TquAtLwjfEwcx3KsCqhd784

請求書を発行しました — お支払い待ち

下のボタンから Stripe 請求書ページを開き、お支払いをお願いします。
お支払い方法: クレジットカード / 銀行振込 (仮想口座) / コンビニ決済 (現在準備中)

決済する 📄 請求書 PDF をダウンロード

この注文内容で見積書 (PDF) を作成できます。 📄 見積書 PDF を作成

① ご確認ください

- 請求書を発行すると、この注文に商品を追加することはできません。商品を追加・変更したい場合は、右の「取消」ボタンでこの請求書を取り消し、トップページから入れ直してください（取消後はトップページから新規購入できます）。
- 「決済する」を押すと、別タブで Stripe の決済画面が開きます。元の画面に戻る際は、ブラウザの「戻る」ボタンは使用せず、決済タブを閉じるか、元のタブに切り替えてください。

この請求書を取り消す

明細

【観光DX検定】初級/学習教材セット（Eラーニング・テキスト・実践問題）	¥30,000
受講者: ニホンカンコウ	
受講期間	
小計	¥30,000
消費税 (10%)	¥3,000
合計	¥33,000



支払方法は、クレジットカード、銀行振込（ネットバンキング）、コンビニ決済からお選びください。
それぞれの画面の案内に従って期日までにお支払意をお願いします。
お支払いについてのご相談は、日本観光振興協会Dカレッジ担当までメールでご連絡ください(jinzai@nihon-kankou.or.jp)。
請求書、領収書の出力については、「見積書・請求書・領収書ダウンロードガイド」をご確認ください。

公益社団法人日本観光振興協会 会長 荻田 正信

¥33,000 📄 請求書 PDF

期日: 2026年8月22日

請求先 ニホンカンコウ
請求元 公益社団法人日本観光振興協会 会長 荻田 正信
請求書 #8GOC6JX1-0003

請求書の詳細を表示 >

お支払い方法を選択してください

カード コンビニ決済 銀行振込

☐ 今後の購入のために 公益社団法人日本観光振興協会 会長 荻田 正信 に決済情報を保存

支払う

⑥ お支払-2

<クレジットカード払い>

公益社団法人日本観光振興協会 会長 荻田 正信

¥ 33,000

↓ 請求書 PDF

期日: 2026年×月××日

請求先 ニホンカンコウ

請求元 公益社団法人日本観光振興協会 会長 荻田 正信

請求書 #8GOC6JX1-0002

請求書の詳細を表示 >

お支払い方法を選択してください

カード

カード番号
1234 1234 1234 1234

有効期限
月 / 年

セキュリティコード
CVC

国
日本

コンビニ決済

銀行振込

今後の購入のために 公益社団法人日本観光振興協会 会長 荻田 正信 に決済情報を保存

支払う

<コンビニ払い>

公益社団法人日本観光振興協会 会長 荻田 正信

¥ 33,000

↓ 請求書 PDF

期日 2026年×月××日

請求先 ニホンカンコウ

請求元 公益社団法人日本観光振興協会 会長 荻田 正信

請求書 #8GOC6JX1-0002

請求書の詳細を表示 >

¥ 6,600 の支払いを完了する
2026年×月××日 期限が切れる前に、コンビニエンスストア
で支払う必要があります。

支払いコード 535687

確認番号 45213641684

対応店舗

コンビニ決済の手順を表示または印刷する

<銀行振込>

¥ 33,000

↓ 請求書 PDF

期日: 2026年×月××日

請求先 ニホンカンコウ

請求元 公益社団法人日本観光振興協会 会長 荻田 正信

請求書 #8GOC6JX1-0001

請求書の詳細を表示 >

お支払い方法を選択してください

カード

銀行振込

銀行振込による支払いについては下記の手順をご覧ください。

銀行振込をご利用の場合、お振込先は下記の通りになります。

口座名義	ストライプジャパン株式会社	
口座番号	9424223	
金融機関コード	0009	
銀行名	三井住友銀行	
支店コード	960	
支店名	関東第二支店	
口座の種類	普通預金口座	

銀行から以下の住所の提出を求められる場合があります。

銀行

口座名義人

⑦ 受講手続き

お支払が完了すると、受講手続きのご案内メールが配信されます。
案内に従って、Eラーニングサイトへログインし、受講手続きを進めてください。

From: 観光DX検定 決済サイト <no-reply@nihon-kankou-dx.info>
Date: 2026年7月6日(月) 午後8:00

Subject: 【Dカレッジ (Dスタディ／観光DX検定) 決済サイト】 決済完了及び受講手続きのご案内

To: <*****>

本文：
お支払いを確認いたしました。ありがとうございます。

1 件のプログラムの決済が完了し、受講手続きが可能になりました。
以下のDカレッジ (観光DX検定・Dスタディ) サイトにログインのうえ、受講のためのお手続きを行ってください。
Dカレッジ (観光DX検定・Dスタディ) では、本人確認を公的機関が発行した写真付きの証明書 (例：マイナンバーカード・運転免許証・パスポート)、学生の方は学生証により行っております。
お手数ですが、本人確認書類をご用意の上、以下のサイトより受講のためのお手続きをお願いいたします。

▼ Dカレッジ (観光DX検定・Dスタディ) サイト
https://*****

購入履歴・領収書はこちら：
https://*****



DカレッジのEラーニングサイトです。
ログインID、パスワードを入力、ログイン

ログインID

パスワード

ログイン

▶ ログインIDを忘れた方はこちら

▶ パスワードを忘れた方はこちら

📄 動作環境

🌐 言語選択 (language) :

日本語 ▼

※ログイン時は顔認証用にwebカメラを使用します

⑧ Eラーニングサイトでの顔画像の撮影、本人確認書類の登録

◆顔認証システムについて

本検定システムでは、なりすまし受験や不正受講防止のため、初回のログイン時に、顔写真と顔写真付き個人確認書類（学生の場合は学生証）の登録をお願いしています。

1. ログインURLからID,PWを登録
2. プライバシーポリシーを確認、同意
3. 顔写真、本人確認書類の撮影
4. 本人確認の照合、承認
5. 受講案内メール受信
6. 受講開始



2回目以降のログイン画面では、カメラ前の顔画像と登録済みの顔画像データを自動照合し、判定します。

写真と登録いただいた顔写真データおよび個人情報、個人情報保護法に基づき、検定システム内に安全・厳重に管理されておりますので、ご安心して

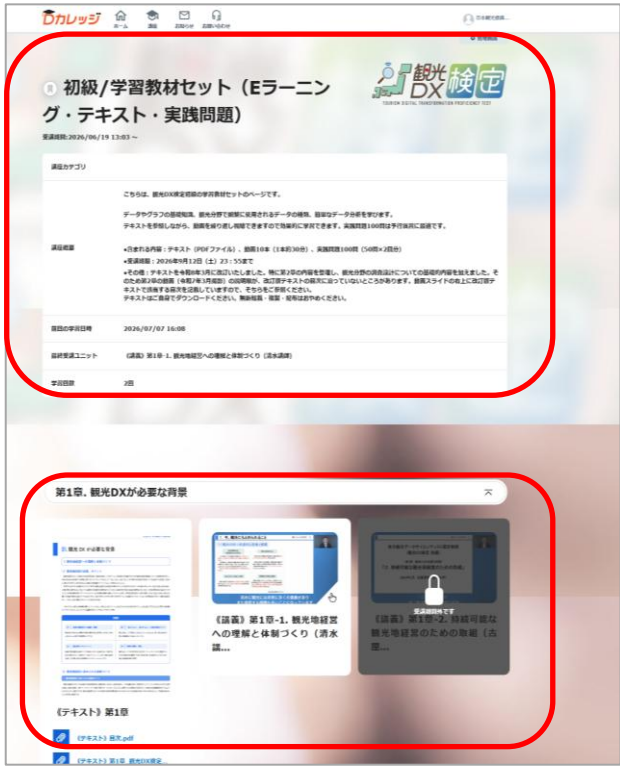
お申し込みください。ご不明な場合はお問い合わせください。(次ページをご参照ください)

⑨ 受講開始

本人確認書類承認完了後、Dカレッジ(Eラーニングサイト)にログインすると、ホーム画面が表示されます。
上部の「講座」タブをクリックすると、購入した講座の一覧が表示されます。
講座名称をクリックします。



講座画面にて、テキスト・資料のダウンロードや、動画の視聴ができます。
動画を視聴後の実践問題・確認テストもこちらの画面です。
動画を最後まで視聴すると、実践問題(Dスタディの場合は確認テスト)に進むことができます。
(動画視聴が完了すると画面に黄色文字で「COMPLETE」と表示され、受講前の講座は「受講期間外」と表示されます)
Dスタディの確認テストは8割正答で、次の動画に進むことができます。



・ご質問は、[お問合せフォーム](#)からお問合せください。
Dカレッジ運営事務局
(月～金、いただいたお問い合わせは
順次回答いたします)



・主催 公益社団法人 日本観光振興協会
観光地域づくり・人材育成部
Dカレッジ担当

～見積書・請求書・領収書関連でよくあるご質問とご回答～

Q 見積書・請求書・領収書の宛名等を変更してほしい

A 見積書・請求書について、オンライン上からの宛名の変更はできません。以下のメールアドレス宛に、①現在の宛名、②お申し込みの内容、③お申し込みの金額、④変更を希望する宛名を記載の上、お送りください。追って担当者よりご連絡をさせていただきます。尚、請求書の宛名を変更する場合には、決済システムのご利用ができません。当協会所定の銀行口座へのお振り込みにてご対応をお願いいたします。ご入金後、各種確認・設定のため、各講座の受講・受験まで通常で5営業日ほどお時間を頂戴いたしますので、予めご了承ください。また、決済完了後の請求書・領収書については、宛名等の変更の対応は致しかねますので、ご了承ください。

見積書・請求書の変更のご要望先 （公社）日本観光振興協会Dカレッジ担当 jinzai@nihon-kankou.or.jp （平日9：30～17：30）

Q 組織で複数名で受講するので、まとめて代金を支払いたい

A 代表者の方が、受講される方をシステム上で事前に招待したうえで、講座申し込みの際に各商品で「受講者を追加」してください。（受講者の招待方法については、別ファイル「代表者がまとめてお申し込みをする場合の手順」をご参照ください。）その後、画面より決済を進めていただくことにより、一括して代金をシステム上でのお支払いいただくことができます。

Q 決済代行システムを使わずに、協会の銀行口座宛に直接代金を振り込みたい

A 担当者が別途対応いたしますので、必ずシステムからの決済を行う前に、以下のフォームから①請求書の宛名、②お申し込みの内容（プログラム名称・受講予定者全員のお名前）、③お支払予定日、④通帳に記載される送金者名（例・㈲ニホカコシヨウカイ）、⑤ご担当者様情報をご登録ください。

[Dカレッジ（観光DX検定・Dスタディ）銀行振込登録フォーム](#) （リンクをクリックすると、フォームに進みます）

尚、見積書・請求書の発行にお時間をいただく場合がございます。各講座の受講・受験については、ご入金後が済み次第の対応となります。各種確認・設定のため、受講・受験ができるようになるまで、ご入金後通常で5営業日ほどお時間を頂戴しますので、予めご了承ください。



お問い合わせ先

日本観光振興協会観光地域づくり・人材育成部
jinzai@nihon-kankou.or.jp